

事業コード	1010502	政策コード	14	政策名	福祉サービスの充実
事業名	福祉事業所人材確保事業	施策コード	01	施策名	共に支え合う地域社会の実現
		指標コード	05	施策目標(指標)名	その他施策関連事業
部局名	健康福祉部	課室名	福祉政策課	班名	地域福祉・監査班
				(tel)	1316
				担当課長名	佐藤 寿美
				担当者名	小柳和己

評価対象事業の内容

事業年度 平成21年度 ~ 平成23年度

1-1. 事業実施の背景(施策目標の達成のためになぜこの事業が必要であったのか)
共に支え合う地域社会実現のためには、高齢者や障害者へのサービス従事者が質、量共に十分であることが前提となるため、県内の介護・福祉事業所の経営の主体や規模に依らず就労者を広く確保、育成する必要がある。

1-2. 外部環境の変化及び事業推進上又は完了後に明らかになった問題点
介護・福祉分野は他の業種より離職率が高いことから、求職者が事業所での実体験を踏まえて就労する一方、就労者が研修等によって求められる職責を果たしつつ将来展望を持ちながら仕事を続けられるようにする必要がある。
また、中小規模の事業所では自ら単独による求人会や研修会を開催しづらいことから、これらが複数連携して共同求人会や合同研修会を開催できるよう支援する必要がある。

2. 住民満足度の状況(事業終了後に把握したもの)
①満足度を把握した対象 受益者 一般県民 (時期: H24年 04月)
②満足度の把握方法
 アンケート調査 各種委員会及び審議会 ヒアリング インターネット
 その他の手法 (具体的に 秋田労働局発表)
③満足度の状況
県内の常用雇用の有効求人倍率は0.58(福祉関係1.47)で前年同期の0.42(福祉関係1.4)よりやや改善したものの、依然厳しい状況が続いていることから、雇用確保が重要課題となっている。

3. 事業目的(どういう状態にしたかったのか)
小規模な事業者であっても優れた人材を広く求めるために共同で求人会を行うことができる一方、従業員の技術や知識を高水準に保つための合同の研修会等を自ら行えるようにする。
また、福祉や介護の仕事に関心のある求職者等が、実際の職場体験を踏まえて違和感なく就労できる環境をつくる。

4. 目的達成のための方法
①事業の実施主体

県

②事業の対象者・団体
直接の対象: 福祉事業者→最終的な対象: 福祉事業所の就労者

③達成のための手段

- ・複数の介護・福祉事業所をユニット化し、共同で開催する求人会や合同研修会に助成する。
- ・職場体験者を受け入れた事業所に助成する。

5. 前回評価における指摘事項等
①指摘事項

②指摘事項への対応

6. 事業の内容

①事業概要及び推進状況
複数の小規模な事業所がユニットを形成して行う共同求人会や合同職員研修会により、県内の介護・福祉分野の人材確保と育成を図るとともに、介護・福祉分野に関心のある求職者に対して職場体験の機会を提供することにより就労を促進するために、次の事業を実施した。
1 複数の事業所のユニットによる、共同求人会や合同研修会活動に対して助成した。
2 職場体験者を受け入れた事業所に対して助成した。

②事業費等 単位(千円)

内 訳		当初計画事業費	最終事業費
複数事業所連携事業		48,711	24,212
職場体験事業		19,092	4,799
事業費計		67,803	29,011
財源内訳	国庫補助金	0	0
	県 債	0	0
	そ の 他	67,803	29,011
	一 般 財 源	0	0

③当初計画及び最終の事業費比較
最終事業費/当初計画事業費 = (0.42)

7. 事業の効果及び課題の改善状況
 複数事業所連携事業においては、多数の小規模事業所に充実した内容の研修機会を提供することができたため、介護・福祉分野での人材の育成が図られた。
 職場体験事業においては、介護・福祉の仕事に関心のある求職者に職場体験の機会を提供することができ、就労促進や雇用のミスマッチの防止が図られた。

8. 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

指標名	共同求人または合同研修を行う複数の小規模事業所によるユニット数								指標の種類
指標式	五つ以上の事業所によるユニット数								●成果指標 ○業績指標
①年度別の目標値（見込まれる効果） 低減目標指標 ○ 該当 ● 非該当									
指標	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	全体	
目標a					15	15	15	45	
実績b					6	10	9	25	
b/a					40%	66.7%	60%	55.6%	
②データ等の出典	事業実績報告書								
③把握する時期 ● 当該年度中 03月 ○ 翌年度 月 ○ 翌々年度 月									

指標名	県内の福祉事業所での職場体験者数								指標の種類
指標式	特定の事業所で連続5日以上の職場体験者数								●成果指標 ○業績指標
①年度別の目標値（見込まれる効果） 低減目標指標 ○ 該当 ● 非該当									
指標	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	最終年度	
目標a					100	100	100	300	
実績b					48	44	14	106	
b/a					48%	44%	14%	35.3%	
②データ等の出典	事業実績報告書								
③把握する時期 ● 当該年度中 03月 ○ 翌年度 月 ○ 翌々年度 月									

◎指標を設定することができなかった場合の効果の把握方法

①指標を設定することが出来なかった理由

②成果（見込まれる効果）

所管課の評価		評価結果
有効性の観点	住民満足度の状況 ●a ○b ○c 【b又はcの場合の分析】	○A ●B ○C
	事業の効果 適用の可否 ● 可 ○ 不可 ○a 達成率100%以上 ○b 達成率80%以上100%未満 ●c 達成率80%未満 【b又はcの場合の理由】 複数事業所連携事業については、参加ユニット数が前年度より減少した（ただし、参加事業所数ではH22の157からH23は168に増加している）。 職場体験事業については、参加者数が前年度から大幅に減少した。原因は、福祉・介護の仕事の魅力が十分に理解されていないことや、職場体験日数が連続5日以上10日以内であるため、連続した体験には参加を尻込みする傾向が強まったものと考えられる。	
効率性の観点	事業の経済性の妥当性 適用の可否 ● 可 ○ 不可 ● a 1.0~ ○ b 0.8~1.0 ○ c ~0.8 〔 事業終了後の効果 / 最終事業費 〕 / 〔 当初計画時の効果 / 当初計画事業費 〕 = 1.12 【評価への適用不可、又はb、cの場合の理由】 指標Ⅰ (25/29,212) / (45/48,711) =1.12 指標Ⅱ (106/4,799) / (300/19,092) =1.40	●A 1.0~ ○B 0.8~1.0 ○C ~0.8
	○A（妥当性が高い） ●B（概ね妥当である） ○C（妥当性が低い） 多数の小規模事業所に充実した内容の研修機会を提供することができ、介護・福祉分野での人材育成が図られたとともに、介護・福祉の仕事に関心のある求職者に実際に職場を体験できる機会を提供することができたことから、目標値には届かなかったものの、適正に事業目的を達成できたものと考えられる。	
総合評価	評価結果の類似事業への反映状況等(対応方針)	
	政策評価委員会意見	

終了事業事後評価判定点検表

(様式5-1)

(1) 各評価項目の判定基準

観点	評価項目	判定基準	配点	1次	2次	評価結果	
ア有効性	一 住民満足度等の状況	a 住民満足度等を的確に把握しており、満足度も高い	2	2		A:有効性は高い (4点) B:有効性はある (1~3点) C:有効性は低い (0点)	
		b 住民満足度等を把握しているが、手法が的確でない又は満足度が高くない	1				
		c 住民満足度等を把握していない	0				
	二 事業目的の達成状況	a 目標値に対する達成率が全て100%以上	2	0		1次 2次	
		b a、c以外の場合	1				
		c 目標値に対する達成率のいずれか一つが80%未満	0				
計			4	2	B		
イ効率性	一 事業の経済性の妥当性	a 当初計画時と事業終了後の事業効果を比較した値(注)が全て1.0以上	2	2		A:効率性は高い (2点) B:効率性はある (1点) C:効率性は低い (0点)	
		b a、c以外の場合	1				
		c 当初計画時と事業終了後の事業効果を比較した値のいずれか一つが0.8未満	0				
	計			2	2	A	

(注) 事業経済性の算定式

$$\text{(事業終了後の効果} \div \text{最終事業費)} \div \text{(当初計画時の効果} \div \text{当初計画時事業費)}$$

上式で、効果とは事業の効果を把握するために設定した指標の実績値をいう。なお累積の実績値を設定している場合は、前年度からの差し引きによる「単年度増加分」を実績値として用います。

(2) 総合評価の判定基準

総合評価の区分	判定基準	総合評価	
A (妥当性が高い)	全ての観点の評価結果が「A」判定の場合	B	
B (概ね妥当である)	総合評価結果が「A」又は「C」以外の場合		
C (妥当性が低い)	全ての観点の評価結果が「C」判定の場合		